

令和6年度水稲視察研修会を開催しました

～安房地域若手水稲農家の経営安定に向けて～

安房農業事務所改良普及課 令和6年12月11日発

農業事務所では若手水稲農家の今後の経営判断の材料とすることを目的に、令和6年度農業経営体育成セミナー生産部門別研修（水稲）及び規模拡大志向の経営体を対象に、君津地域への水稲視察研修会を開催したところ、9名の参加がありました。

始めに、地域の水田の大部分を担い、大型機械を使って効率的に作業を行っている「農事組合法人上望陀」を視察しました。続いて、水稲と野菜の複合経営を行っている袖ヶ浦市百目木の生産者を視察しました。それぞれの経営主から、地域農業の現状と課題、栽培や経営での工夫等について、説明がありました。参加者からは、「営農組合と個人の関係づくりが参考になった」、「経営安定の観点から、水稲に加え、野菜を効率的に栽培することが目標となった」との感想が聞かれました。

農業事務所では、水稲農家の経営安定に向けて、引き続き支援していきます。



ライスセンターの設備について説明を聞いています（農事組合法人上望陀）



水稲栽培上の工夫等について質問する様子（袖ヶ浦市百目木の生産者）